

東アジアと同時代日本語文学フォーラム 2017 ソウル大会について

〈東アジアと同時代日本語文学フォーラム Forum on East Asia and Contemporary Japanese Language Literature〉は、韓国・中国・台湾・日本の日本研究者が各地域を毎年巡回しながら一堂に集う研究集会として 2013 年に創設された。その狙いは、(1) 各地域における近代以降の日本語文学、およびその文学と各地域の文化との接触を、東アジアという横断的な視座から議論すること、(2) 学術的な横断性と地域的な横断性を掲げ、一分野一地域にとどまらず、日本研究を東アジア規模で推進していくこと、(3) 共同で次世代の研究者を養成していくこと、にある。

2013 年度創立大会は高麗大学校（韓国）、2014 年度是北京師範大学（中国）、2015 年度は輔仁大学（台湾）、2016 年度は名古屋大学および博物館明治村（日本）で開催された。第 5 回となる 2017 年度は、10 月 27～29 日の日程で、高麗大学校および東国大学校で開催する。

第 5 回ソウル大会のテーマは「言語圏とディアスポラ文学」とし、民族・歴史・地域の境界を越えていく文学と文化の移動の動態に着目する。「バイリンガル・ハイブリッド・テキスト」を俎上に載せるフェイ・阮・クリーマン氏の基調講演に始まり、関連する 2 つのシンポジウムで計 6 名が報告し、4 つの関連パネルセッションで計 15 名が報告する。

また、第一日目には本年も次世代フォーラムを行う。韓国、中国、台湾、日本の大学院生など合計 17 名が報告を予定している。同世代の大学院生たちが異なった背景をもつ他の発表者、教員、参加者達と議論を交わし、交流することにより、それぞれの研究の深化と、持続的な研究者ネットワークの構築へと結びつける。

さらに今年度からは自由発表の枠を設けた。12 名の個人発表と、4 つのパネルセッションの計 15 名が報告を行う充実したプログラムとなった。より開かれた研究交流の場をめざして開放されたこの場が、日本語文学を研究するより多数の、より多様な背景をもつ者たちが集うフォーラムとなることを願っている。

主催：東アジアと同時代日本語文学フォーラム、東国大学日語日文学科、高麗大学 BK21PLUS
中日言語・文化教育・研究事業団

主管：高麗大学グローバル日本研究院、東国大学日本学研究所

後援：日本国際交流基金、韓国研究財団、高麗大学、東国大学日本学研究所

協力：北京師範大学外国語学院日本語科、復旦大学日本語学科、輔仁大学外国語学部日本語文学科、東呉大学日本語文学科、国立政治大学台湾文学研究所、名古屋大学大学院人文学研究科、名古屋大学大学院人文学研究科附属「アジアの中の日本文化」研究センター、九州大学大学院地球社会統合科学府言語・メディア・コミュニケーションコース